"To acknowledge the duty that accompanies every right"
Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Yasuo Ueno Address:〒659-0074 2-8-304 Hirata-cho, Ashiya, Japan
Mail : uenoashiya@kbd.biglobe.ne.jp
URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主　　題

国際協会会長　　ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィック
"Waking the Sleeping Giant with Blue Music"
「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」
アジア太平洋地域会長　ラチャン マネカーン(タイ・チェンマイ)
"Awakening the Asia Pacific with Blue Music"
「アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる」
西日本区理事　　岡村遍導(滋賀蒲生野クラブ)
「変わりつづけようワイズメン！私たちが見てみたい西日区！」
"Let's keep changing, Y's Men ! To became the Japan West Region we want to see"
六甲部部長　　杉本隆人(神戸学園都市クラブ)
「和を以て貴しとなす」
"To be true to oneself through harmony"
芦屋クラブ会長　　福原吉孝
「愉しくなければワイズでない。明るく賑やかに活動しよう！」

今月の聖句

主なる神は、土(アダマ)の塵で人(アダム)を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。
創世記 2 章 7 節

10 月第1例会

と き: 2026 年 10 月 21 日(水)　15:00～19:00
ところ: 白鹿記念酒造博物館　15:30～17:00
白鹿クラシックス レストラン　17:30～19:00
★集合場所: 阪神西宮駅東口改札前
集合時間: 15:00 白鹿まで歩いて 10 分です

1) 白鹿記念酒造博物館見学ツアー
2) 懇親会: 白鹿クラシックス レストラン

司会進行:	福原吉孝会長
＊開会点鐘	福原吉孝会長
＊ワイズソング	一同
＊聖書朗読	田辺征一ワイズ
＊ゲスト・ビジター紹介	一言自己紹介
＊食前感謝	上野恭男ワイズ
＊食事・歓談	
＊誕生日祝い	福原吉孝ワイズ
3) 第2例会議事録の承認	福原吉孝会長
事業委員の報告	各事業委員
YMCA報告	井島裕介担当主事
ニコニコ献金報告	坂東幸子ワイズ
閉会点鐘	福原吉孝会長

会　　長	福原吉孝
直前会長	田辺征一
副 会 長	
書　　記	柏原佳子
会　　計	桑野友子
監　　事	上野恭男
担当主事	井島裕介
六甲部Ｙさユース事業主査	濱瀬眞知子

10
Oct.,2026
351号

「きらりと輝くアート展」の開催に向けて、絶大なるご支援を・・・



会長　福原吉孝

今年度も重要な継続事業として、開催に向けて検討会が開始される。小生は、昨年度、六甲部の CS 担当主事として 3 月に原田の森ギャラリーで開催を実現し、六甲部の各クラブ会長、CS 担当者とともに素晴らしい展覧会を成功裡に収めることが出来、大きな喜びであった。芦屋クラブが応援するみどり作業所から絵画、貼り絵等の展示があり、六甲部の各クラブが関連する施設からも絵画、写真、貼り絵、粘土、織物作品等、多数の力作があり、100 作品にも及ぶ多数の展示であった。連日、大勢のお客様を迎え盛大の内に終了できた。寄せられた素晴らしい作品で多くのお客様に感動を与え、心豊かにして頂ける良い機会であったと強く思った。

この事業は、芦屋クラブにとって関連が深い。元芦屋クラブ五十嵐ワイズご夫等によって継続開催されてきた。その功績に対して、西日本区から表彰された輝かしい成果があり、「障害のある方々に作品の発表の出来る場を提供しよう、少しでも社会との繋がりを持てるお手伝いをしよう」という強い思いで始められた六甲部にとっても大変、大切な事業である。ただし、コロナ感染で 2 年間、開催が出来ず、忸怩たる思いであっただけに、昨年度に、展覧会として何とか再開が出来た事は、六甲部としても大きな喜びになった。

今年度も、きらりと輝くアート展を開催に向けて、六甲部のCS主査 幸田兵衛様より、9 月 28 日に検討会の案内が届いている。

この検討会には、芦屋クラブから CS 担当の上野ワイズ、柏原書記と小生が昨年度に引き続き参加する。開催日程、実施方法、各施設への働きかけ作品の募集と展示法等が検討される。芦屋クラブの皆様にも開催に向けて、絶大なるご支援とご協力をお願い致します。

★ 9 月第 1 例会集計は 3 ページに掲載しています。

9 月第１例会報告

日時:　2026 年 9 月 16 日（水）　19:00～21:00
場所:　ホテル竹薗芦屋　　（敬称略）
参加者:　福原吉孝会長・上野恭男・柏原佳子・桑野友子・
権　甲植・島田　恒・田辺征一・堤 清・中島かおり・
濱瀬眞知子・坂東幸子・船橋知子（各ワイズ）＆
井島裕介担当主事
ゲスト:　京谷隆司氏（ゲストスピーカー）
伊藤八重子・松本　昭・渡辺徹也（島田ワイズ友人）
北川恵子・野村吉彦・野村喜久子（柏原ワイズ友人）

少し涼しさが感じられる夕刻、ゲストも加わってくださり賑やかな雰囲気で例会がスタートした。



開会点鐘、クラブソング斉唱、そして権先生の深みあるメッセージで進められた。
会食を楽しんだ後、スピーカーは福原会長紹介によるベテラン防災士京谷隆司さんであった。
京谷さんは防災の知識・現場での経験・数々の講演を駆使され「大切な命と暮らしを守る」ため、災害リスクを知る・命を守る行動・暮らしを守る備えに大別して語ってくださった。
初めのクイズに私は自信をもって手を挙げたが、二つとも外れで、後の説明を緊張感をもって聞くことになった。地震・津波・風水害やそれに伴う社会的リスクを知らされ、地震の起こり方や関東・阪神・東日本地震のデータが示された。30 年以内の発生確率が 60～90%とのこと、空前とも言える想定にいささかの恐怖感を覚えた。地震の発生は誰にも止められず、



何時であるかもわからない。できることは、命と暮らしを守るための備えであり行動であることが説かれた。揺れから身を守る家具の固定、備蓄と持ち出しする品目、家族との連絡方法、さらに避難場所を知っておくことや活用できる公的情報の確認などが説明され、最後に「おうち避難所」のススメが述べられた。学びの多い機会であった。



事後京谷さんから会長宛、「熱心なご様子は、演台からでも非常に印象深く感じました」というメールがあったようだ（聴講態度は合格だったようです－笑）。



第二例会決定の承認、そして YMCA からは熊本震災に対する支援が報告された。芦屋クラブからもいち早く献金できたことは貢献の一翼ではあったが、現地の苦労の大きさを察することになった。
ニコニコもささげられ、閉会点鐘をもって例会が名残惜しい気持をもって終了となった。

島田　恒

日伊国交 160 周年を祝う「ストラディヴァリウス・コンサート 2026」

1709 年製「エングルマン」、1710 年製「カンボセリーチェ」、1715 年製「ヨアヒム」という、黄金期のストラディヴァリウス 3 台が一堂に会する奇跡のような演奏会でした。



神戸市室内管弦楽団とのアンサンブルの調和も美しく、300 年の時を超えて届く、音の力に大満足の夜になりました。
贅沢で幸せな特別の時間を、有難うございました。

船橋知子

神戸クラブの尾上ワイズから柏原ワイズに SOS が入ったのは 9 月初旬、9 月 29 日の「ストラディヴァリウス・コンサート」のチケットが思うように捌けないとの事、早速柏原ワイズが芦屋クラブメンバーに働きかけ、上野・柏原・桑野・田辺・濵瀬・船橋の 6 名名が参加することになりました。私自身は久しくクラシック音楽に接していなかったので、とても楽しみでした。
当日は小雨模様でしたが三ノ宮駅で待ち合わせ、軽食をとった後、地下鉄で神戸文化ホールに、駅からは近く、思っていたよりスムースに到着しました。正面玄関では尾上ワイズの出迎え、六甲部の各クラブからもかなりの人が参加していました。
演奏はサラサーテ「チゴイネルワイゼン」やヴィヴァルディ「四季」等、誰もがよく知っている曲目で、芸術の夜を満喫しました。
★笹川（音楽）財団が最高クラスのストラディヴァリウス弦楽器を 22 挺保有しており、若手有望演奏家や世界で活躍する演奏家へ国籍を問わず貸与しているとのことです。

桑野友子

「阪急電車にお辞儀をする」

9 月 15 日（火）、大阪土佐堀クラブに我がクラブの中島かおりワイズがゲストスピーカーとして、お招きを受けていました。上野ワイズ、柏原ワイズ、桑野ワイズと私の 4 人が応援のつもりで参加いたしまました。

土佐堀の YMCA は昔からよく耳にしましたが、伺うのは初めてで楽しみに大雨の中の参加となりました。

立派な建物の中で、柏原ワイズの古巣と伺い、昔は活気に溢れた賑やかな、人数の多いクラブだった様です。



当日はメンバーが 5 人、あちこちからの 1 人ずつのゲストが 5 人、芦屋クラブからの 5 人でちょっと寂しい例会に感じました。

中島かおりワイズの「四方山話」と題して宝塚時代の厳しい学校生活のお話をお聞きしました。夢の世界にあこがれた少女は難関を勝ち抜いて宝塚音楽学校に入学されたのです。

華やかな世界の第一歩は、女軍隊の入隊？のような毎日で。

笑ってはいけない。
廊下での並び方。
お掃除。
通ってはいけない道。

また阪急電車にお辞儀をすると言うのもあり、上級生を尊敬する事が大切で車輌の前方には乗らない、

常に先輩には遠慮をすると言う精神だったようです。

若い時代を女軍隊の中で過ごされたからこその今があるのかなあと感じました。



これからの兵庫県や芦屋市のために、市民の声を聴き、みんなの代表として議会を盛り上げていただきたいと願っております。

坂東幸子

９月第１例会集計		
第１例会出席 メンバー　１３名 メネット　　名 コメット ビジター　　名 ゲスト　　７名 合計　　２０名	例会出席率 出席者　　13名 メイクアップ　　名 合計　　名 在籍者　　16名 （内広義会員1名） 出席率　81.25%	BF切手 累計　　gm ニコニコ 9,610 円 累計　21,510 円

瀬戸山陰部部会

9 月 19 日（土）瀬戸山陰部部会がホテルモントレ姫路で開催されました。芦屋クラブからは、福原会長・上野・桑野・浜瀬・田辺・柏原の 6 名が参加しました。

7 年前から姫路グローバル様との新しい交流が生まれました。講演は大阪 YMCA 副総主事　山根一毅氏が「震災復興について」語られました。

継続的な取り組み・定期的な訪問の大切さ、又１０年経ても変わらないことは、段ボールだけが自分の居場所・街では普通の生活に戻っているが、避難所は相変わらず非常食であることなど課題はこれからも残されていくと話に、昨今の凄まじい震災に胸が痛みます。

続けて「お笑いヨガ」体験、最初に世界中に広がっている運動だと知り、自然と笑顔になりました。全員が簡単な動作でお互いに向き合ったり、手を繋いで輪になったり、その中で自身の呼吸と心を高めていく楽しいプログラムに全員が笑顔に包まれました。

その余韻のまま、明るい青空が見渡せる懇親会会場に案内



されました。77 名と参加者は決して多くはありませんが、お席の配分も良く、西日本区理事岡村遍導ワイズの挨拶があり、西日本区大会でははっきりお顔が分かりませんでしたが、ようやく身近に感じられました。



名物の三宅　隆ワイズや大野　勉ワイズのワイズバンド演奏で盛り上がり、ワインもお酒もたっぷり、お料理も美味しくてたえず懐かしい方たちとの交流を楽しみました。

姫路グローバルリーダー9 名の活き活きとした活動報告が2面のスクリーンに映し出され、そういった支援をされているのは素晴らしいと思います。4 つのクラブで組織されている瀬戸山陰部ですが、今回久しぶりに参加させていただき、大きい力だけではなく互いに協力し支えあってこれだけ暖かで有意義な会を運営されたことに、僭越ながら感心と安心をいただきました。今後のご活躍を祈ってやみません。

柏原佳子

『 聖句 読み説き 』

7 節の言葉はその後の聖書の中でも特に大切な言葉です。聖書全体の中でのキーワードといってもよいでしょう。この言葉は後々までこの物語の重要な言葉として意味を持って来ます。聖書は人間の創造を最初に記すことによって、人間とはいったい何であるのか、神とはいかなるお方でそして人間とはどうゆう関係なのかと言う事に最大の関心を記しているのです。「人間は土の塵から造られた」と言います。土の塵をヘブライ語で「アダーマー」、そのアダーマーから造られたので人間を「アダーム」と呼ぶと言うのです。最初に造られた人間をアダムは、イコール男だと思われています。しかし、この段階で聖書のどこに「アダムは男である」と書いてあるのでしょうか。そう言う事は書いてないのです。そもそも女性と言うものがまだ存在していません。女性と言う性がない所で男性が存在するはずがありません。キリスト教の中心人物、パウロも新約聖書の中で「男が先に造られ女は後から作られた」と間違った読み方をしています。この物語の中で著者が最も読者に伝えたいことは「人間は本来、土の塵であって、そこに神の命を息を吹き入れたので、それで生きる者とされている」 それをいちばん言いたいのです。私達人間が生きて存在しているのは、神なしではあり得ない事」「私達人間の存在は全く神に依存している」と言いたいのです。なぜその様な事を一番言いたいのかといえば、それはやはりこの著者が生きていた時代と深く関係しています。　　権　甲植

9 月第 2 例会議事録

日時：　9 月 24 日　18:00ー20:00
場所：　芦屋市民センター204
参加者：　福原会長・上野・桑野・島田・田辺・浜瀬・坂東（各ワイズ）＆井島担当主事会員

議事・報告

□　**第１例会予定**　　会場は原則ホテル竹薗芦屋
- ＊10 月 21 日（水）15:00～18:00
  白鹿資料館見学 15:30＆会食 17:30
  会費：　4,000 円（飲み物は各自）
- ＊11 月 18 日（水）
  アコーディオン
- ＊12 月 23 日（火）クリスマス例会

六甲部部会 11/28（土）、六甲部新年例会 1/16（土）と大きな行事が続くが、恒例の行事は大切にしたいので、従来の路線ですすめることにする
- ＊2 月　留学生交流会を第１例会とする。 日程は後日
- ＊3 月　賀川記念館で館長の講演（未定、後日決定）
- ＊4 月　さくら祭り

□　**その他の行事**
- ＊9 月 28 日（月）きらりと輝くアート展の実行委員会
  福原、上野、柏原、桑野出席
- ＊9 月 29 日（火）ストラデバリュウス演奏会、神戸文化ホール
  上野、桑野、田辺、浜瀬、舟橋、柏原
- ＊11 月 21 日（土）六甲部部会　ポートピアホテル
  参加者は芦屋 ML で確認
  会費　13,000 円（クラブより 3,000 円補助）
- ＊11 月 22 日（日）神戸 YMCA チャリティーラン 2026 検討会　参加者：浜瀬Y‘サ主査　田辺
- ＊8 月会計報告：　桑野ワイズよりあり、承認。
- ＊YMCA 連絡：　井島連絡主事
  チャリティーランでは、六甲部でお店を出す。
  今回は、みどり作業所は参加しない。

□　**その他連絡事項**

熊本地震から 2 か月を経て、YMCAに 20～30 万円の支援金（西宮＆芦屋の納涼合同例会での献金を含む）がなされた。

□　**次期六甲部キャビネット及び次期クラブ役員　承認**
- ＊次期六甲部部長　桑野友子、 書記　福原吉孝、会計　上野恭男、 実行委員　上野・柏原　承認
- ＊次期芦屋クラブ役員　会長　柏原佳子（30 周年）、書記　田辺征一、 会計　濱瀬眞知子　承認

文責　柏原佳子（書記）

YMCA ニュース

■チャリティーラン 2026 募集開始！！

今年もやって参りました！第 28 回神戸 YMCA インターナショナル・チャリティーラン 2026 が 11 月 22 日（日）しあわせの村にて開催されます。このイベントでは様々な種目があり、「1/10 マラソン」では約 4.2 kmのコースを走ります。自動測定器を装着して記録測定を行い、本気で記録を狙うランナーから、普段からランニングを楽しまれている方が参加されます。そんな距離は走れない、自信が無い…という方には「1/100 マラソン」があります。競技トラックを 1 周だけ！約 421mを走り切ります。走るのが苦手な方は「1.2km ウォーキング」！景色を楽しみながら皆で歩きます。仮装をして参加される方もおられて、華やかで活気があります。競技的なものだけでなく、からあげやフランクフルトなどの出店もあり、健康の秋、食欲の秋！にぴったりのイベントです。尚、このチャリティーランで集まった支援金は日本中の障がいのある子どもたちが、安全かつ有意義に YMCA のプログラムに参加できるようにする為に用いられます。

「*あなたが走るとハッピーになる子どもたちが増えます。*」



という標題の基、障がい児・者プログラムを支援し「共に生きる」社会を目指すこと、神戸 YMCA に関わる多くのボランティアやメンバーが協働し、交流を通して「心のふれあい」を促進します。少しずつ秋の気配が漂ってきた頃（遅い？）、暑さからも少しずつ開放されて動きやすくなってきました。芝生など景色の良いしあわせの村というフィールドで心も身体も健康になりましょう！ご参加をお待ちしております！

お申し込みは
この QR コードから

担当主事　井島　裕介

編集後記：　長い暑い夏が過ぎ去り、やっと秋らしくなりました。秋は部会を始め、チャリティーラン・音楽会といろいろな行事が続きます。食欲の秋・スポーツの秋、芸術の秋を皆で楽しみましょう！　　桑野友子